



輝け！北っ子！

二本松北小 創立150周年記念事業（1）

～節目の年に向けて 実行委員会スタート～

北小・南小のルーツは1873年（明治6年）竹根小学校／松岡小学校の創立にあります。様々な歴史を重ねる中で、両校は同じ学校として歴史を重ねていた1960年（昭和35年）「二本松小学校」が「南」「北」に分かれ、二本松小学校が「南小」に、「北小」は新設開校となり、現在に至ります。学校に残る「沿革誌」によれば、節目となる年には記念行事が行われた年もあり、特に100周年時（1973年（昭和48年））には北小・南小合同で大規模な記念行事が行われたという記録が残っています。

来年2023年は創立150周年にあたり、北小にとって大きな節目の年を迎えることとなります。そこで、学校としては、コロナ禍であること、学校の抱える業務量の拡大、働き方改革といった社会の状況に留意しながらも「150周年記念事業」を実施し、PTAの協力の下、節目の年を祝いたいと考えています。

そのためには、令和4年度から「準備・実施」に入る必要があります。先日9/9に行った「PTA三役会」を「第1回実行委員会」とし、活動をスタートしました。

第1回実行委員会では組織作りの他、以下のような基本方針の確認などが行われました。

- 北小・南小それぞれで事業を展開する。
- 新型コロナウイルス感染症の状況を注視し、活動は慎重に行う。
- 関係者に過度の負担を強いる活動はできるだけ避ける。
- 学校・PTAを基本構成とし、現存する組織をできるだけ活用して運営する。また、活動・協力者の幅を広げないようにし、あまり大きな組織としない。

「150周年記念事業実行委員会」は

PTA会長／副会長／運営委員長／校長／教頭／教務を委員とし、活動の骨子や役割分担、調整などを行うこととしました。

- 実行委員長 － PTA会長
- 同 副委員長－校長

さらに、この後必要になるであろう「記念誌委員会」「式典委員会」は新規に設置する方向で進めるものの、その他の行事・活動等には新規の委員会は設置せず、現存する組織等で対応することとしました。

150周年記念事業に係る予算としては、今年度のPTA会計残金からの補助・繰り越し、来年度PTA会費徴収時の臨時徴収を主な原資と考えています。詳細は今後お示しすることになると思いますが、実行委員会で概ねご了解いただきました。

今後、少しずつ記念事業に向けて進めてまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。

「創立〇周年」のとらえ方

創立150周年を、150年目を満了した時ととらえ、151年目を150周年とする。このとらえは他の周年事業時でも同様であり踏襲する。



※ 写真だと見づらいのですが、校庭遊具の草で用務員さんが「北小150」の文字をつくりだしてくれています。見つけられるかな？